

政治・社会に関心を持とう！



どうして投票に行く若者が少ないんだろう？

若者への意識調査が実施されたよ、理由を見てみよう！



令和4年7月に実施された参議院議員通常選挙後の意識調査で、18～29歳の若者は棄権理由を次のとおりに回答しました。

- ・選挙にあまり関心がなかったから・・・48.1%
- ・政党の政策や候補者の人物像など、違いがよく分からなかったから・・・37.0%
- ・仕事があったから・・・33.3%
- ・重要な用事（仕事を除く）があったから・・・20.4%
- ・適当な候補者や政党もなかったから・・・18.5%
- ・選挙によって政治はよくわからないと思ったから・・・13.0%
- ・私一人が投票してもしなくても同じだから・・・13.0%

〔第26回参議院議員通常選挙全国意識調査〕 明るい選挙推進協会



このまま若者の投票率が低いと社会はどうなるの？

一緒に考えてみよう！



若者の投票率の低下

候補者は投票率の高い年代を優先した公約を掲げてしまうかも…

若者の意見が届きにくい社会に変化

「投票しても社会は変わらない」と考える人も少なくありませんが、「投票しないから社会は変わらない」という面もあります。

若い世代の意見をより社会に反映させ、すべての人が暮らしやすい社会を作るためには、自分自身の意見を持ち、投票を通じてそれを示していくことが大切です。

投票は、政治・社会への関わりとして、国民に保障されている大切な権利です。



投票して終わりではなく、
当選した人がその後、きちんと公約を実現できているかを見守ろう！